

(様式1)

〇〇年度神奈川県農業経営新規アイデア実現支援事業計画書

1 区分 **農業経営新規アイデア施設整備事業**

2 事業実施者

ふりがな	かながわ はなこ	生年 月日	昭和●年4月1日 (満〇〇歳)
申込者	神奈川 花子		
住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 横浜市中区日本大通1		
連絡先	電 話 : (045)000-0000		
	携帯番号 : (090)0000-0000		
	F A X : (045)000-0000		
	E - mail : kanakana @kennkenn●●.jp		

3 経営内容

(1) 農業従事者 (本人、雇用も含む)

	性 別			農業従事日数
	男	女	計	
家族	1	1	2	延べ 500 日
常雇用				
臨時雇用				延べ 日
パート等				
計	1 人	1 人	2 人	延べ 500 日

※農業従事日数は、1日の労働時間を8時間で換算。

(2) 経営面積

		面積 (a)		主な品目	
		露地	施設		
経営 耕地	水田	35a			
	普通畑	35a			
	樹 園 地	果樹			
		茶園等			
		計			
	耕地計				

4 事業内容

(1) 取組内容

※新規性に係るポイント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

※アイデアの新規性を踏まえた取組内容を記載

〇〇を導入し、□□を計画している。〇〇を導入し、△△を行うことは県内で実施している例が無く、新しい取組である。さらに〇〇を導入することは▽▽という点から新規性がある。これより、年間販売額の▽▽円以上の増加や、収量の●●t/10aの増加、作業時間を〇〇時間削減できることが見込まれる。

5 取得状況

※該当している場合チェックし、ポイントを記載

GAP 又は農場 HACCP 認証の取得・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

農業版事業継続計画（BCP）を策定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

有機 JAS 認証の取得・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

周辺環境対策に係る取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

(取り組んでいる農薬飛散防止や臭気対策等、周辺環境との調和に資する施設・機械の整備について記載する)

- ・ 周辺農作物の栽培者に対し、事前に農薬の散布日時、使用農薬等を通知する。境界区域に散布しない区域を設定している。ノズルを使用し農薬飛散防止対策を実施している。
- ・ 鶏舎の飼育ゲージの床に送風機付きのベルトコンベアがあり、鶏糞を乾燥させながら舎外へ搬出している。

女性の経営参画

※申請者が以下のいずれかに該当・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

- (1) 女性農業者（自らが農業経営を行っている又は部門間で区分経理を行っている場合に当該部門の責任者である者）
- (2) 代表者が女性であるか、役員若しくは構成員のうち女性が過半を占める法人又は任意組織
- (3) 法人又は任意組織であって、部門間で区分経理を行っている場合に女性が当該部門の責任者であるもの

ステップアップセミナー又は中核的農業経営体育成支援事業の修了者・・・・ 2

6 取組の目標（到達点）

成果目標	計画時の状況 (令和6年度)※1	目標(3年目) (令和9年度)※1	増減・備考	ポイント※2
1：必須				
ア 年間販売額の増加	3,000,000円	8,000,000円	5,000,000円増	1
2：以下イ～エから1つ選択(任意)※3				
イ 高品質化・高付加価値化による単価の増加	100,000円/10a	150,000円/10a	50%増	4
ウ 収量の増加	4t/10a	5t/10a	25%増	3
エ 経営コスト削減	2,000,000円/10a	1,800,000円/10a	10%減	2

※1 翌年度事業を申請する場合：計画時の状況は申請年の前年度を記載。目標年度は実施年度の2年後の年度を記載。

※2 ポイント欄は別表1に基づいて記載する。

※3 2：イ～エで該当がない場合は記載しない。

(2) 目標値の算出根拠

①ア年間販売額の増加の根拠
 現在の年間販売額は〇〇円、作付け面積は□□a。□□aあたりの収量は△△で、収益は△▽である。★★を導入することで、作付け面積が■■a増加し、収量が▲▲増加する。その結果年間販売額●●円の増加となる。

②(イ単価の増加) 又は ウ収量の増加 又は エ経営コスト削減)の根拠

- ・現在、10aあたりの単価は△△円である。★★を導入することで、□□障害が減少する。その結果、●●という付加価値をつけて生産物を販売することで、10aあたりの単価を▲▲円に増加することができる(▼▼%増)。
- ・(ウ収量を選択した場合の例)現在は10aあたり〇〇tの収量。★★を導入することで、□□が向上され、10aあたりの収量を●●tに増加することができる(△△%増)。
- ・(エ経営コストを選択した場合の例)現在、肥料代等で〇〇円/10a要している。★★を導入することで、土壌改良が図られ、肥料代等を●●円/10a削減することができる(△△%減)。

※②は該当がない場合は記載しない

7 ポイント総計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

※3～5のポイント数の総計を記載

記載例において「ウ収量の増加」を選択した場合のポイント総計

8 経費

(1) 補助対象経費

費目	内 容	金額 (円)
備品購入費	Y字ジョイント栽培一式	15,000,000
材料費・消耗品費		
参加費・負担金		
委託費		
その他		
合 計		15,000,000

※記入欄が不足する場合は、適宜行を増やすか、別紙を添付すること。

(2) 補助額

資金名	金 額 (円)	備考
補助対象経費	15,000,000	
うち補助金	5,000,000	補助対象経費の1/3以内。 ただし、農業経営新規アイデア導入事業は上限100万円、農業経営新規アイデア施設整備事業は上限500万円
うち自己資金	10,000,000	
うちその他		国庫支出金 市町村補助金等

9 添付資料

- ・団体の規約及び役員名簿又は構成員名簿
- ・経営への参画状況が分かる資料（家族経営協定の写し（法人の場合は、役員名簿写し））
- ・導入する機器等の見積書やカタログ、設置場所の地図等（見積書の宛名は、申請者名又は経営体名とする。）
- ・事業申請前2年間の販売金額がわかる書類（青色申告書等）
- ・目標に記載したことが確認できる資料
- ・GAP又は農場HACCP認証を取得したとわかる書類
- ・農業版事業継続計画（BCP）を策定したとわかる書類
- ・有機JAS認証を取得したとわかる書類
- ・ステップアップセミナー又は、中核的農業経営体育成支援事業を修了したことがわかる書類
- ・その他根拠がわかる資料